

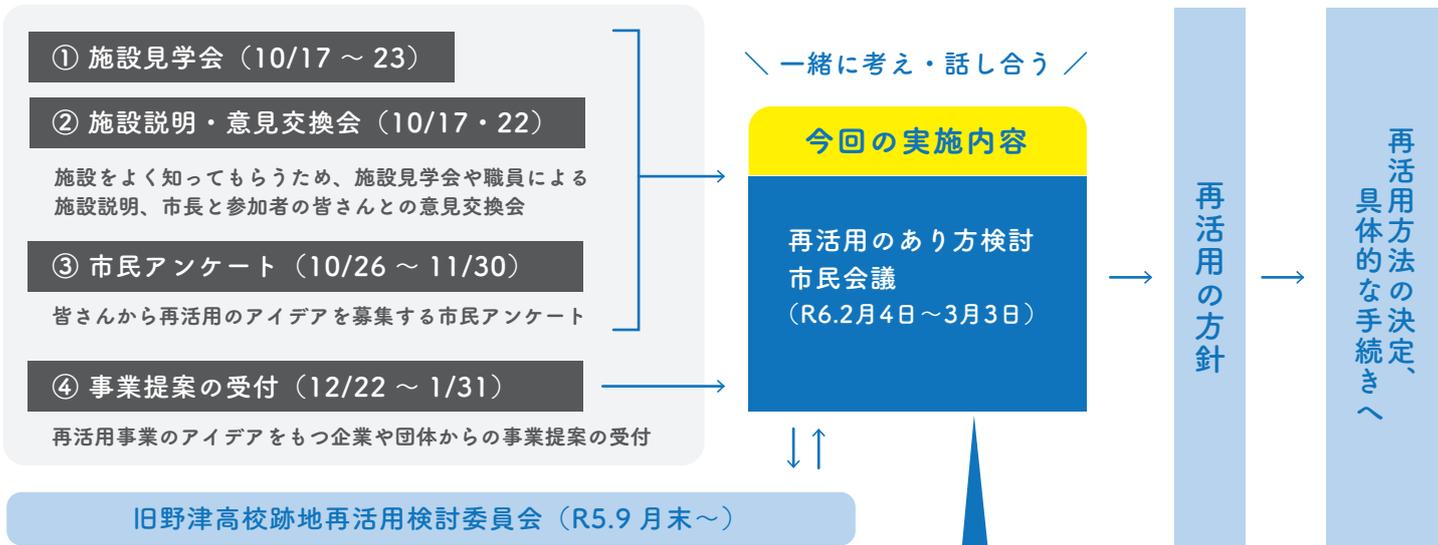
# 旧野津高校跡地再活用のあり方検討市民会議 活動内容報告書

開催期間

2024年 2月 ▶ 3月

民間事業者による利活用事業の停止を受け、令和5年9月から旧野津高校の再活用に向け取り組んでいます。

＼ 見てもらう → 知ってもらう → 聞かせてもらう ＼



## 市民会議の開催状況について

全4回の市民会議ではこんなことを行いました。

1. 市から再活用の取組状況の説明、参加者の自己紹介、意見交換	2月4日(日)	10:00～12:00
2. 事業提案のあった企業・団体からのプレゼンテーション、意見交換1	2月15日(木)	19:00～21:00
3. 事業提案のあった企業・団体からのプレゼンテーション、意見交換2	2月22日(木)	19:00～21:00
4. 事業提案のふりかえり、ワークショップ、発表	3月3日(日)	10:00～12:00

## 市民会議開催のポイント

- 現役世代が参加できるように、日曜日や平日の夜間に開催
- 再活用がイメージしやすい会場はすべて旧野津高校跡地で
- オープンな議論の場とするため、すべての回の傍聴は自由に



## 市民会議のメンバーは どうやって選んだの？

市民会議は、以下の参加者で構成しました。

- (1) 再活用事業に関連する様々な団体等からの推薦…14人
- (2) 再活用事業に関心のある市民（一般公募）……9人

【応募者全員】

(1)はアンケート等によりいただいた活用案に関連する分野の団体(地域、商工、観光、農業、福祉、スポーツ、子育て、教育など)に依頼し推薦していただきました。

(2)は広報白杵1月号、市のホームページにより約1ヶ月間募集しました。

市民とは、現在白杵市に住んでいる方のほか、白杵市への通勤・通学や、事業・活動を行っている方も含みます。(白杵市まちづくり基本条例による)

市民会議にご参加いただきありがとうございました。  
参加者自身の思いを述べる、活用したいという事業者の提案を聞く、参加者同士で思いを共有するという流れで会議を開催しました。  
多岐に渡る内容でしたが、実現可能性を踏まえた議論になり、大変意義深い会議になりました。  
今後の方針にも注視していただければと思います。



全4回の市民会議にコーディネーターとして参加  
行平真也さん

九州産業大学講師、白杵市市政アドバイザー、  
総務省地域力創造アドバイザー

# 会議の流れ | 会場 | 旧野津高校跡地

## 1. 取組の全体像のガイダンス、自己紹介、意見交換 2月4日(日) 10:00~12:00

これまでの再活用に向けた取組の報告や市民会議の進め方などの説明を行なったのち、コーディネーターの行平真也さん（臼杵市市政アドバイザー）の進行のもと、参加者から自己紹介とそれぞれがいいと思っている再活用案を1人ずつ発表していただきました。

その後、4つの班に分かれて行なったグループディスカッションでは以下のテーマで、それぞれの意見を出し合いながら、参加者同士で意見交換を行いました。



### ① 関心のある再活用案は？

- ・遊べる場所など、子ども達のための施設に
- ・親子で交流・体験ができる施設に
- ・若者が集まる場所に
- ・多くの市民が楽しめる施設に
- ・住民みんなが使える施設に
- ・人手不足解消など農業振興につながるように
- ・交流人口や移住者の増加につながる活用を
- ・防災関係の活用を

### ② 検討するうえで重視すべきポイントは？

- ・未来を見据えて考えること
- ・少子高齢化、人口減少の現状、身の丈に合った活用を
- ・持続可能性、実現可能性
- ・人口減少下における他地域の取組を参考に
- ・農林業振興の拠点となること
- ・地域住民の交流の拠点となること
- ・新たな雇用を生み出すこと
- ・市内外から人を集め、賑わいを生み出すこと



### ❖ 見えてきた立地上の課題

- ▲ 国道10号から建物が見えない
- ▲ 看板がなくわかりづらい
- ▲ 施設への進入路が1つしかなく狭い
- ▲ 隣接する保育園への安全上の配慮が必要
- ▲ 敷地が広大で、建物の規模も大きい

## 2. 事業提案者からのプレゼンテーション（前半） 2月15日(木) 19:00~21:00

## 3. 事業提案者からのプレゼンテーション（後半） 2月22日(木) 19:00~21:00

自らが主体となって再活用事業に取り組む意欲とアイデアのある企業や団体から受けた12の事業提案について、第2回と第3回で事業提案者からプレゼンテーションを受けました。

### 2. 前半プレゼン内容

- ・再エネ+農産物の栽培
- ・道の駅に付随したICT教室
- ・外国人技能実習生向けの寮
- ・かぼすの集出荷の拠点
- ・甘しょ（サツマイモ）の広域選果場
- ・有料老人ホームの建設

### 3. 後半プレゼン内容

- ・ARトリックアート美術館
- ・不用品の回収・リサイクル
- ・イチゴの観光農園+文化教室
- ・高齢者サロン、多世代食堂
- ・テントサウナ、キャンプなど
- ・お茶の観光型工場、合宿等の受入



事業提案の中身や提案者名など詳しい情報は提案者の権利保護の観点から掲載せず、項目のみご紹介いたします。ご了承ください。

## [ 事業提案を受けて ]

### 複合的な利活用が望ましいという意見

- ・1つの事業で全ての施設を使うのは難しい
- ・色々な提案をミックスするとよい
- ・複合で使うことで、リスクを分散できる
- ・複数の事業が相乗効果を発揮できるスタイルが野津には合っている
- ・農業系の提案が複数あるため、うまく棲み分けして活用できそう
- ・それぞれの提案にいい点があるため、白杵市にプラスになるような事業を組み合わせればよい

### プレゼンテーションを聞いた感想など

- ・提案事業者の意欲が感じられて良かった
- ・市民が喜んで集う場所にしてほしい
- ・今やっていることの延長の方が実現性が高い
- ・現状そのまま使え、野津の人に喜ばれるものを
- ・農業関連の事業は、地域農業者への影響も考え判断してほしい
- ・実際に決定する方には、提案事業者の経営状態をしっかりと把握して決めてほしい

## 4. まとめ（ワークショップ、最適な活用方法を考える） 3月3日（日） 10:00～12:00

第2回・第3回の事業提案の内容を振り返ったのち、敷地全体を4つのゾーンに分け、施設ごとの再活用案を話し合うワークショップを行いました。その後、参加者ごとに自分なりの施設の再活用案を作り、1人ずつ発表を行いました。

### 1 事業提案のふりかえり



### 2 ワークショップ (施設ごとの最適な再活用案を考える)



### 3 自分なりの施設の 再活用案づくり～発表



### 参加者が思う再活用事業の評価ポイント (ワークショップより上位8つ)

- ・安定した経営・運営のもと、持続可能であること
- ・人を集め、賑わいを生み出すこと
- ・再整備にかかる公費負担が少ないこと
- ・地域住民の交流が盛んになること
- ・管理運営にかかる公費負担が少ないこと
- ・施設内の他の事業との相乗効果が期待できること
- ・基幹産業である農林業の振興につながる
- ・雇用の安定性、新たな雇用を生み出すこと

### 参加者同士で共有できたこと (参加者アンケートより)

- ・参加者の真剣な取り組み、熱意・思い
- ・野津地域の発展・活性化への気持ち
- ・野津高校跡地を何とかしたいという思い
- ・様々な意見があるということ
- ・様々な事業が融合できれば良い、ということ
- ・複合施設にした方が良い、ということ
- ・高齢者や子育て、関係人口増につながれば、ということ

## 再活用に向けて市に望むこと（参加者アンケートより）

- “何のため”に使うのかをきちんと考えたうえで検討してほしい
- 野津を中心に白杵市民が「あって良かった」と思える施設にしてほしい
- 野津の市民が何の事業かを知ったうえで、喜んで参加し集う場所・市民の役に立つ施設にしてほしい
- 野津のために、施設を有効に使ってほしい
- 多くの人が集まり、楽しんでもらえる場所にしてほしい
- 前の利活用事業者と同じことにならないようじっくり考えてほしい
- 公費負担が少ないこと、集客力、公共性をメインに考えてほしい
- ①持続性、②市民の納得、③地域の活性化を基本に検討してほしい
- 持続可能か、地域のためになるか、ということを重視してほしい
- 建物はそのまま生かすようにしてほしい
- 災害時の活用も視野に入れ検討してほしい



Q

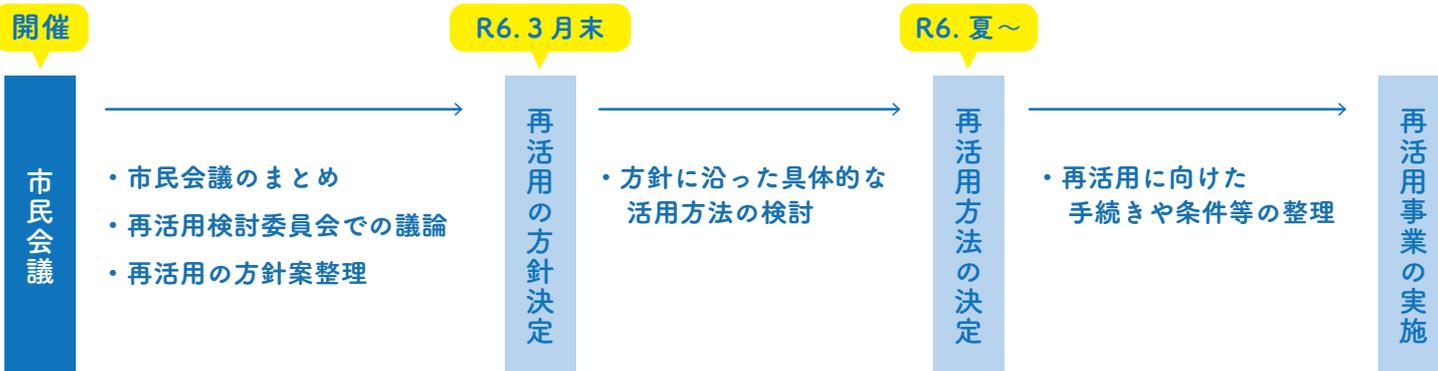
今回の市民会議のような場があれば、また参加したいですか？

はい	15人
わからない	1人
いいえ	1人
回答なし	3人

### ～市民会議における共通認識～

- ① 再活用にあたって最も重視すべき視点は“持続可能性”
- ② 敷地や施設が広大なため、分割して利活用を
- ③ コストはできるだけ抑えて、必要なものは市民が納得できる説明を

### 〔再活用事業の実施までのながれ〕



問合せ

旧野津高校跡地再活用検討委員会事務局  
 (白杵市役所 秘書・総合政策課内)  
 TEL:0972-63-1111 (内線 2116・2118)

再活用に向けた一連の取組は  
 白杵市のホームページで  
 ご覧いただけます。

